

鎧神社 東京都新宿区北新宿 3-16-18

当神社は将門の北斗七星のうちの1つで、柄の一番外に位置する神社になる。

ご祭神は、日本武命(やまとたけるのみこと)、大己貴命(おおなむちのみこと)、少彦名命(すくなひこなのみこと)、平将門公(たいらのまさかどこう)。

日本武命が天皇の命によって東国の平定に向かったとき、当地に甲冑六具をしまいかくした。また、将門公を討った後、重病となった藤原秀郷が、将門公の神霊の崇りと恐れ薬師如来を本尊とする円照寺に参詣し、天暦元年(947)将門公の鎧を埋め、祠を建ててその霊を吊ったところ、病気がたちまち治ったと言われます。以後、村の鎮守の社として近隣の尊崇を受けていたことから、「鎧」の社名が起こったと伝えられています。

(境内説明書)



道路から短い参道が続く



手水舎は空



灯籠と狛犬も立派



夕方遅かったので提灯に灯が



摂社 天神社



新宿区指定有形民俗文化財に指定されている狛犬型庚申塔